

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	失語症Ⅳ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	603教室
担 当 教 員	岡 孝夫					
実務経験とその関連資格	《経歴》 榊原温泉病院にて言語聴覚士として8年勤務。その後、専門学校大阪医専、大阪医療福祉専門学校にて教員として勤務し、現在は大阪人間科学大学の言語聴覚専攻にて講師として勤務。主に失語症や嚥下障害、運動性構音障害等の講義を担当。また現在も、医療法人同人会京都九条病院、訪問看護ステーションうさぎ、セレーノ訪問看護ステーションで非常勤STとして失語症治療や嚥下障害、運動性構音障害の患者を担当。 所属学会:言語聴覚士学会 日本高次脳機能障害学会 日本神経心理学会 《学会発表》 ・「呼称能力と知的機能の関係についての検討ーBNTを用いてー」 (日本高次脳機能障害学会 2004年) ・「正常者における呼称能力の縦断的变化:3年目の検討」 (日本高次脳機能障害学会 2005年) ・「失語症患者に対するβブロッカーの効果:第2報」 (日本神経心理学会 2007年) ・「7番染色体長腕部一部欠損による重度精神遅滞児の食行動の質的分析」 (日本言語聴覚学会 2017年) など					
《授業科目における学習内容》						
・失語症の障害メカニズムを、言語処理モデル(ロゴジェン・モデル)に沿って学ぶ。 ・標準失語症検査(SLTA)の結果を障害メカニズムに照らし合わせ、言語処理モデルにおける問題点から訓練方法を考える。 ・基本的な訓練方法やその技法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:60～70％ 小テスト:30～40％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
基本資料:スライド資料 / なるほど失語症の評価と治療(小嶋 知幸/金原出版 2010年/ISBN978-4-307-75023-3) 参考資料:標準言語聴覚障害学 失語症学 第3版(藤田 郁代・立石 雅子・菅野 倫子/医学書院 2021年/ISBN978-4-260-04307-6) STクリア言語聴覚療法② 失語症(大塚 裕一・宮本 恵美/建帛社 2024年/ISBN978-4-7679-4552-1)						
《授業外における学習方法》						
認知神経心理学的モデル(ロゴジェン・モデル)の考え方は、評価や治療において今の言語聴覚療法の主流となっており、実習において失語症者を担当した場合、問題点の抽出や訓練計画の立案の際に必要な知識となります。また、その他の訓練方法も国家試験に出題されますので、講義内容の復習をしっかりと行って下さい。小テストは記述で実施しますので講義内容を理解しておかないと難しいです。						
《履修に当たっての留意点》						
失語症Ⅳは主に人の言語処理過程を学び、失語症に対する訓練に直結する分野です。言語処理過程はまだまだ解明されてない部分も多く存在し、非常に難しい勉強になりますが、卒業後の臨床や実習ですぐに必要なとなる知識になりますので、しっかりと復習し、分からない所は積極的に質問してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての各コマにおける授業予定	ことばとはどのようなもので、どのような役割を持っているかを説明できる。		スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度	
		ことばの役割及び記号処理的側面からコミュニケーションを理解する				
第2回	授業を通じての各コマにおける授業予定	失語症によって障害される、「話す」「聞く」を中心に、「読む」「書く」といった言語モダリティーを記号的観点から説明できる。		スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度	
		失語症によって障害される言語モダリティーを記号処理的側面から理解する。				
第3回	授業を通じての各コマにおける授業予定	単語の理解過程を理解し、障害された過程で出現する問題を説明できる。		スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度	
		言語処理モデル(ロゴジェン・モデル)における単語処理(理解)過程を理解する。				
第4回	授業を通じての各コマにおける授業予定	短文や長文の理解過程を理解し、どのような問題で発生しているか説明できる。		スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行い、小テストに向けて今までの講義内容を復習してください。*90分程度	
		言語処理モデルにおける短文や長文の処理過程を理解する。				
第5回	授業を通じての各コマにおける授業予定	言葉の表出過程を理解し、障害された過程で出現する問題を説明できる。		スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度	
		小テスト実施予定。言語処理モデルにおける呼称や復唱・動作説明、語列挙といったことばの表出過程を理解する。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての各コマにおける授業予定	言葉の表出過程を理解し、障害された過程で出現する問題を説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度
		言語処理モデルにおける呼称や復唱・動作説明、語列挙といったことばの表出過程を理解する。		
第7回	授業を通じての各コマにおける授業予定	文字の読解や音読処理過程を理解し、障害された過程で出現する問題を説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度
		言語処理モデルにおける読解や音読の処理過程を理解する。		
第8回	授業を通じての各コマにおける授業予定	書称や書き取りと言った書字過程を理解し、障害された過程で出現する問題を説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行い、小テストに向けて今までの講義内容を復習してください。*90分程度
		言語処理モデルにおける書称や書き取りの処理過程を理解する。		
第9回	授業を通じての各コマにおける授業予定	SLTAプロフィールの解釈時に注意して見るPointや言語治療におけるプロセスを説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度
		小テスト実施予定。標準失語症検査プロフィールの解釈方法や言語治療のプロセスを理解する。		
第10回	授業を通じての各コマにおける授業予定	代表的な失語症治療の技法について、その特徴や方法を説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度
		刺激法、機能再編性法、PACE訓練、AAC、行動変容法などの訓練方法を理解する。		
第11回	授業を通じての各コマにおける授業予定	代表的な失語症治療の技法について、その特徴や方法を説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度
		刺激法、機能再編性法、PACE訓練、AAC、行動変容法などの訓練方法を理解する。		
第12回	授業を通じての各コマにおける授業予定	訓練を実施する際の目標設定、着眼点、注意点などを説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行い、小テストに向けて今までの講義内容を復習してください。*90分程度
		訓練時の目標設定、着眼点、注意点などを理解する。		
第13回	授業を通じての各コマにおける授業予定	訓練を実施する際の目標設定、着眼点、注意点などを説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度
		小テスト実施予定。訓練時の目標設定、着眼点、注意点などを理解する。		
第14回	授業を通じての各コマにおける授業予定	聴覚的理解力訓練、呼称、読字、構文、書字などの訓練を実施する際の方法や注意点を説明できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行ってください。*90分程度
		聴覚的理解力訓練、呼称、読字、構文、書字などの訓練方法を理解する。		
第15回	授業を通じての各コマにおける授業予定	SLTAのプロフィールから訓練プログラムを立案できる。	スライド資料	(予習)配布資料20枚程度読んでおくこと。*60分程度 (復習)配布資料や教科書の復習をしっかりと行い、最終テストに復習してください。*120分程度
		SLTAのプロフィールから障害にあった訓練方法を考える事ができる。		